

富士通のLinux情報

# Linuxソリューション エンタープライズ利用一覧

2023年6月



# エンタープライズ利用 - 安定運用

## 企業活動を行う上での生命線となるシステムの安定稼働の実現

### お客様の課題

- システム停止による機会損失を無くしたい
- 顧客からの信用失墜を防ぎたい

### 提案ポイント

- クラスタソフトによる**システムの早期復旧**
- 富士通RHELサポート商品による**システム安定運用**

## 提案ポイントの詳細

### システムの早期復旧

- ・ クラスタソフトにミッションクリティカルに実績豊富なPRIMECLUSTER\*1を採用し、システム停止時間を最小化
- ・ データ喪失に備え、Linuxのバックアップソフトウェアでは、No.1の販売実績を誇るNetValut長期サポート\*2を採用

### システム安定運用

- ・ RHEL拡張プラスサポート(AUS)\*3を採用することで、アップデートを極力抑えたバグ・セキュリティ修正運用を実現
- ・ 富士通RHELサポートでは、自社解決率99%を達成。トラブルを迅速に解決

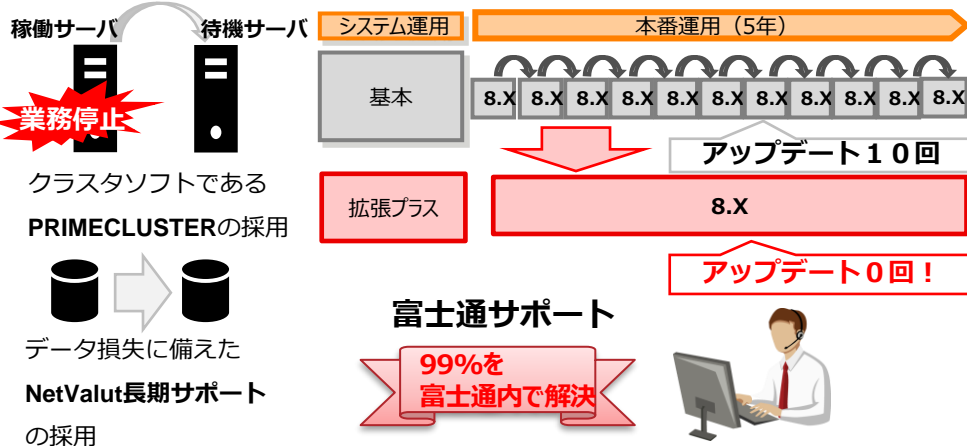
\*1 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/concept/software/index.html>

\*2 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>

\*3 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/concept/support/product/#aus>

## 導入効果

### システムの早期復旧 システム安定運用



## 乱立したサーバの仮想環境への集約

### お客様の課題

- 部門毎に乱立したサーバの導入コスト、運用管理負担を減らしたい
- 使用頻度の少ないサーバを集約したい

### 提案ポイント

- 仮想化ソフトウェアを活用し、乱立したサーバを**仮想環境に集約**
- ピークの異なる業務を仮想環境(VMware/Hyper-V/Nutanix/KVM※)に集約し、**ピークに応じてリソース配分**を変更  
※KVM \*1はRHELに標準搭載。別途仮想化ソフトウェア購入が不要

\*1 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/featurestory/kvm/index.html>

## 提案ポイントの詳細

### 乱立したサーバを仮想環境に集約

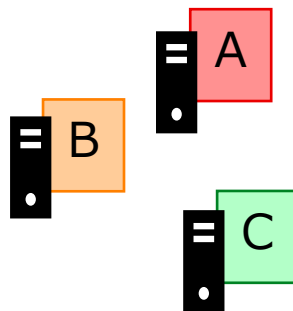
- ・ サーバを仮想環境に集約することで、サポート費用、ハードウェア投資費用を削減
- ・ 仮想化ソフトウェアを採用し、管理対象サーバを減らすことで、稼働監視や修正適用等の面でシステム管理者の負担を軽減
- ・ 管理するハードウェアの数を減らし、光熱・空調費を削減

### ピークに応じたリソース配分

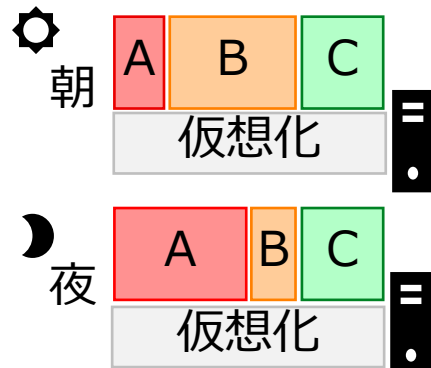
- ・ フェーズやピークに応じて必要とされるリソースが異なる業務を仮想環境に集約することで、未活用となっていたサーバのリソースを有効活用

## 導入効果

### 部門毎にサーバ運用



### サーバを集約



## 災害時に備えて

### お客様の課題

- 限られた予算の中で災対環境を構築したい
- 災対環境の信頼性を必要十分に確保したい

### 提案ポイント

- 仮想環境を活用して、**柔軟な災対環境を構築**
- 単体性能が十分かつ**信頼性の高い構成の採用**

## 提案ポイントの詳細

### 柔軟な災対環境を構築

- ・ 仮想化によってハードウェアリソースを有効活用し、物理サーバ台数を減らして投資コストを抑制（例：開発環境と災対環境のプラットフォームの共通化）

### 信頼性の高い構成の採用

- ・ 信頼性の高い基幹IAサーバ「PRIMEQUEST \*1」を採用することで、ハードウェア起因のシステム停止を防止
- ・ システムやOSの冗長化をサポートする「PRIMECLUSTER \*2」を利用し、信頼性を向上

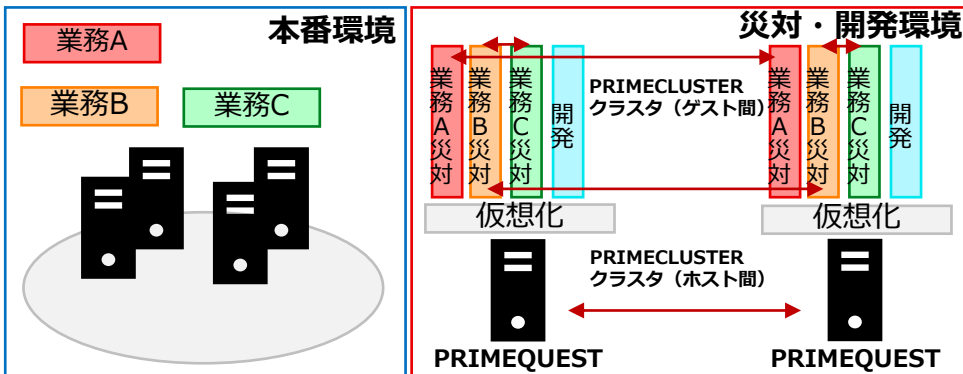
\*1 <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/>

\*2 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/concept/software/index.html>

## 導入効果

本番環境ではオンプレミス環境を採用し、

災対・開発環境のプラットフォームは仮想環境で共通化



# エンタープライズ利用 - クラウドリフト

## オンプレミス⇒クラウド環境へ

### お客様の課題

- メガクラウド上でも拡張サポートを使いたい
- 既存のLinuxシステムと同じ窓口を使いたい

### 提案ポイント

- メガクラウド向けの拡張サポート
- SupportDesk商品として提供

## 提案ポイントの解説

### メガクラウド向けの拡張サポート

- ・ メガクラウド (AWS・Microsoft Azure) 上にも、「拡張サポート(EUS) \*1」を提供。  
特定マイナーリリースへの新規修正提供期間が約2年になり、アップデート回数の削減により運用コストも削減

### SupportDesk商品として提供\*2

- ・ AWS・Microsoft Azure向けに富士通が提供するRed Hat Enterprise Linuxサポートを選択することで、オンプレを含めたハイブリッド環境をSupportDesk窓口で集約

\*1 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/concept/support/product/#eus>

\*2 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/concept/support/>

## 導入効果

### 導入前



メガクラウド

AWS・Microsoft Azureの各サポート窓口に連絡



オンプレミス

富士通 (SupportDesk窓口) に連絡

### 導入後



メガクラウド

富士通 (SupportDesk窓口) に一本化



オンプレミス

	オンプレ	クラウド
拡張サポート(EUS)	○	×

	オンプレ	クラウド
拡張サポート(EUS)	○	○

- 富士通のLinuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、下記お問い合わせページよりご依頼ください。

## Linux情報へのお問い合わせ

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/>

**Thank you**

